

清水港開港120周年記念シンポジウム

# 清水港とお茶と自転車の 不思議な関係

2019年8月4日、  
清水港は貿易港として開港してから120年を迎えた。  
現在、日本有数の国際貿易港として  
中部圏経済に大きな役割を果たしている清水港。  
120年前、先人たちはどんな想いを持って  
開港に向けて動いたのだろう…。

清水港を有する静岡市は「お茶のまち静岡」「世界水準の自転車都市「しずおか」  
の実現」を掲げているが、清水港とも深い結び付きがある…。  
港を玄関口にモノや人が行き交い、新たな文化・産業が形成されてきた静岡・清水。

清水港開港120周年記念事業実行委員会は、この記念すべき年に、私たちの街が  
どのように成り立ってきたかを様々な角度から振り返りながら、これからの「みなとや  
まち」について考える、そんなキッカケとなることを願いながらこのシンポジウムを  
開催します。

## プログラム

13:30  
開会あいさつ

13:40~(45分)

### 基調講演

## 「明治期における静岡県と清水港」

あわくら だいすけ  
講師：静岡県立大学グローバル地域センター特任助教 **栗倉 大輔**

(休憩25分)

※会場ホワイエに貴重な展示品が  
多数ございますので御覧ください。

14:50~(90分)

## パネルディスカッション



写真提供：フェルケール博物館

## 開催日時

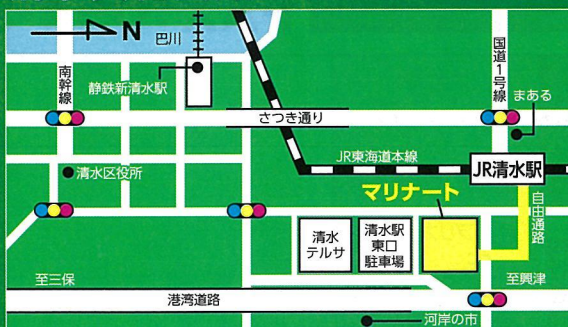
令和2年

# 2月1日(土)

13:30~16:30(13:00開場)

## 会場

清水文化会館マリナート(小ホール)



- JR清水駅東口より徒歩3分(清水駅自由通路直結)
- 静岡鉄道新清水駅より徒歩10分

## お問い合わせ



清水港開港120周年  
記念事業実行委員会  
(静岡市経済局海洋文化都市推進本部内)  
TEL.054-354-2344  
二次元コードからご覧いただけます▶▶▶s-kaiko120.com



## 共催

静岡県立大学グローバル地域センター

## 協力

フェルケール博物館、静岡県茶業会議所、しずおかモビリティ研究会、静岡鉄道

同日  
開催

清水港開港120周年記念シンポジウム  
国際シンポジウム **清水港と寧波港の歴史と未来**  
—近代東アジアの港湾都市ネットワーク—

日時：2月1日(土) 10:00~12:20(9:30開場)  
場所：清水文化会館マリナート 小ホール  
定員：150名 参加無料 要事前申込